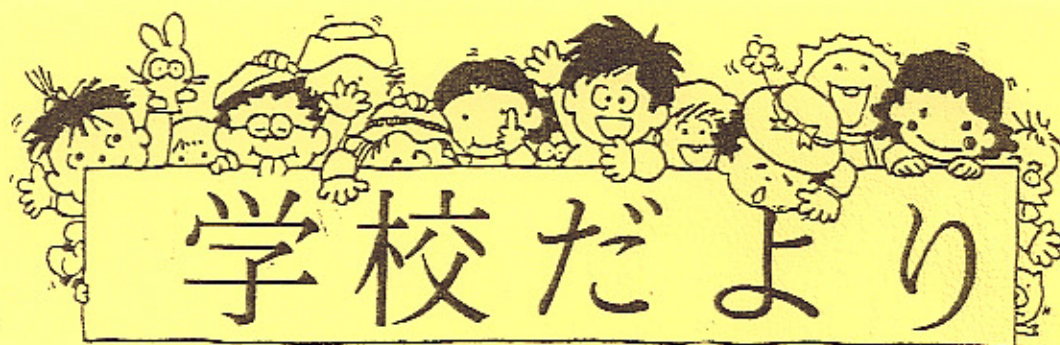




平成16年 1月20日
市川市立妙典中学校

日本は返っていいわ。
日本は自信をなくしていいわ。
日本はやりきれない続けています。
戦後、ものを作り、ものを売って
高度経済成長を果した日本は、
この半世紀を爆走しながら
言の交わり、何を主張し
何を言大ったものでしょう。
その昔、小さなパン一個で満ちたおれ、
癒されたことはありませんか？
飽食の昨今、馳走を食べながら
心の空腹を感じたことはありませんか？
富を頂て、日本も日本人も、
お金で買えるものを買いすぎました。
衣食足りた後の言は、時として
人間を豹変させ、礼節を忘れさせ、
国の生命力さえも奪い取ります。
欲しいものは、何ですか？
それだけ、いじめられたいのではありません。

今回の詩は、童話作家の方からいただいた年賀状に書かれてあったものです。

その方は、私の保護者の一人ですが、一生に一度自分の本を出すことが夢だったそうです「～さん、プロでやっていかれるかもしれないね」って言われた一言が、彼女の心を動かし、子育て真っ最中、朝5時に起床し、朝食の準備までの1時間原稿を書き続け、そして田舎の小さな郵便局から、作品を東京の先生に送り続けたそうです。そして3年後、創作童話「ぶれいものめ、チョコレート」を出版するに至ったそうです。そんな努力家の保護者からの年賀状に上記の詩が書かれてありました。今回、いただいた中で、印象に残る年賀状でした。豊かさの中で忘れてしまったもの、忘れてはいけないもの、そういうことを年頭に教えていただいたような気がします。世の中がせわしなくなればなるほど、大人も子どもを時計の針に追い回され、心のゆとりを無くしてしまっています。便利さを知れば知るほど、不便さにイラつくようになりました。ある夕方、慌ただしく学校の戸締りをしていた時、2年生の楠先生から「先生、見たことがありますか？」って教室から見える富士山を紹介していただきました。確か、12年前、私もこの場所から見たはずの富士山が、こんなにも美しく、鮮やかに、新鮮に見えたのは、あの時の私の心のせいだったかも知れません。

さて火曜日から1年生では朝読書の時間に「市川子どもの本の会」の方による読み聞かせを行います。火曜日は1組から4組まで、水曜日は5組から8組まで、それぞれ4人の方々が来て下さいます。一味も二味も違う朝の読書になりそうです。



吹奏楽部の演奏活動の一コマ

12月20日
市川駅コンコースにて「第53回ミュージックステーション」が行われ、本校の吹奏楽部が出演し、駅構内は多くの見学者でいっぱいでした。迫力のある演奏と態度に魅了された一時でした。



大金星の合唱部

昨日行われた、第14回千葉県合唱アンサンブルコンテスト（県、合唱連盟、朝日新聞社主催）が船橋市民文化ホールで行われました。その結果、中学校重唱の部（4人）で堂々の銀賞、中学校同声の部（14名）でみごと金賞をいただきました。顧問の八木先生と合唱部の生徒さんは夏休み中もほとんど休むことなく、練習を重ね、そういう努力が報いられたのだと思います。発表の翌日なので、写真掲載はできませんが、出来上がり次第、事務室前の掲示板で紹介したいと思います。ほんとうにおめでとう。

夢は県から全国へ

昨日行われた、平成15年度千葉県ユース（U-13）選手権大会市川支部大会で、本校のサッカー部が第3位になりました。この大会の出場資格は、1年生と早生まれの2年生ということで、妙典中では、ほとんどが1年生だったそうです。今年は、オリンピックの年で、昨日のバスケット全日本女子のオリンピック出場のニュースなど、盛り上がっています。あっという間に、夏の総体の時期がやってきます。寒い季節ですが、一生懸命がんばって、勉強とスポーツを両立しながらがんばってほしいと思います。

～ 風邪に負けるな ～